米子市福生西地区西４区自治会

～顔の見えるメンバーで、楽しく！～



米子市福生西地区の９自治会には、現在、女性の自治会長が３名いらっしゃいます。そのうちのおひとり、西４区自治会長で、こども園の園長でもいらっしゃる松原葉子（まつばらようこ）さんに、自治会運営の楽しさや工夫しているところ、今後の抱負などについて伺いました。

西4区はこんなまち

■米子市福生西地区西４区自治会　加入世帯：約２０世帯　　加入率：２０～３０％

■役員　会長（女性）、副会長、会計（女性）、体育部、女性部、交通安全部、社会部、教養部

福生西地区は、県道皆生西原線（通称皆生道路）の西側と国道４３１号線の南側に接する３角形の狭い地域。周辺の地区は家が建ったり児童数が増えたりするなか、幹線道路との立地の関係か、西４区の２０世帯のほとんどが昔からの住民か、その親戚という、市街地でありながら昔ながらの佇まいを残す地域。

自治会長になった経緯

令和４年から自治会長になり、今年で５年目になる。もともと体育部長を務めており自治会の様子がわかっていた。何年もやってくださっていた自治会長が、７０代になられて、「足も腰も痛くてよう動けん」とおっしゃるので、「じゃあ動くことは私がします」と副会長を引き受けた。それからその自治会長がいよいよ８０歳を超えられて、公民館からの口添えもあり、自分が自治会長を引き受けることになった。

自治会への思い

もともと西４区の３班のうち自分が住んでいる１班は特に仲がよくて、自分が小さい頃から盆と正月の年２回はみんなでご飯を食べたり、お酒を飲んだり。でも今その人たちは９０代になり、半分は亡くなられた。今は「そんなのヤバい（いまどき密接な近所づきあいなんて面倒）」とほかの班の人には言われるが、自分は母たちが仲良くして積み上げてきた「町内の力」みたいなものをゼロにしてしまうのは惜しいと思っている。町内の住民に対して自分も役に立つことができるのであればという気持ちが強い。

連携をとりながら自治会運営

各部長を交えて連携を取りながら運営している。会員向けグループ LINE で情報共有したり、

直接、家にお邪魔して話を聞きに行くこともある。世帯数が少なくて、狭い地域なのでみんなが顔見知りで、隣の方の顔がよく見える距離感で生活している利点でもある。気になることがあればすぐ電話をくれたり、ピンポン♪と家に来てくれたり。

女性自治会長として苦労したこと

就任１期目は大変だった。地区の自治会連合会では意見も言いづらかったが、その時はちょっと様子を見ようと思っていた。ここ２、３年で公民館や自治会連合会のメンバーも大きく変わって女性も増えて、すごく参加しやすくなった。

参加したいと思える自治会活動

比較的高齢の人たちは、若い人たちに自治会の役をやってほしい気持ちが強いが、そこは若い人たち本人と相談しながらできることをやってもらって、なるべくできる人だけに偏らないようにしたい。その種まきとして運動会後の打ち上げでバーベキューをしたりしているが、世代によって希望することが違うで、それをうまく調整しながらやっていっている。

あとがきに代えて

お話を伺う中で、ごみ収集についてや、街頭の電球のことなどこまごました日常の相談も松原さんに寄せられることが多い中で、どうすれば楽しくやっていけるかを大切に、こども園運営と自治会運営を両立させて、多忙ながらも充実した日々を過ごしていらっしゃることが伝わってきました。